



2021-22 年度テーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第 2670 地区

# 宿毛ロータリークラブ会報

■会長	保田 孝司
■幹事	岡崎 利久
■SAA	小栗 学
■クラブ奉仕委員長	有田 裕彦
■職業奉仕委員長	池 和明
■社会奉仕委員長	筒井 大八
■国際奉仕委員長	増田 博和
■青少年奉仕委員長	二神 雅彦

■例会日	: 毎週木曜日 12:30~13:30
■例会場	: 宿毛市幸町 秋沢ホテル
■事務所	: 〒788-0003 高知県宿毛市幸町 6-43
	: TEL 0880-63-3416 FAX 0880-63-3417
	: URL <a href="http://www.gallery.ne.jp/~sukumorc/">http://www.gallery.ne.jp/~sukumorc/</a>
	: E-Mail <a href="mailto:sukumorc@mb.gallery.ne.jp">sukumorc@mb.gallery.ne.jp</a>

## 例会報告 第2728回 令和3年10月7日(木曜日) 天気:晴

- 例会司会: 小栗 SAA
- 開会点鐘: 保田会長
- Rソング: 国歌・四つのテスト
- お客様:

### 四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

### ■会長報告 保田会長

皆さんこんにちは、やっとコロナも落ち着きました。新総理も決まりいい方向に行ってくれればいいなと思っています。

暗い話ばかりではなく真鍋さんというノーベル賞を受賞した方が四国中央市、川之江の方です。90歳でも若々しくて素晴らしいと思います。興味があったら追求をあきらめないことが大事だと再認識いたしました。

### ■幹事報告 岡崎幹事

■ガバナー事務所より:

- ・地区大会午前の部時間変更のお知らせ

■国際ロータリー日本事務局より:

- ・日本事務局「在宅勤務延長」のお知らせ

■米山梅吉記念館より:

- ・10月米山月間資料のご案内

例会終了後理事会を行います。

欠席届 7名

### ■委員長報告

#### IM実行委員会 池委員長

IM実行委員会を来週の木曜日に八坂で行います。

#### 大島桜公園担当委員会 竹田委員長

以前より上に上がる斜めの道が不便だということで市役所に交渉して予算化してもらいました。擬木を所々に植えていくことになりました。皆さんと共有したいと思います。

### ■プログラム 有田委員長

#### 卓話 高瀬会員

「皆さんこんにちは、新型コロナはずいぶんと収束がみられ落ち着いてきていますね、今日は久しぶりに例会場での食事が再開できたことをうれしく思います。

今日の卓話で何を話したらよいのか考えましたが、人前で話せるような趣味はなく、自分が経験してきた仕事について話すしかないかなと思います。最近では昨日今日だけでなく、すぐ前のことを忘れてしまい、あれ？自分は何しにこっちに歩いてきたのか忘れてしまう今日この頃ですが、40年ほど前に学校を卒業し、就職した頃のことは鮮明に思い出します。

建設業は4K(きつい、汚い、危険)な業種と言われています。私は祖父や父が大工であったこと、自分自身ももの作りが好きだったことで建築への道に進みました。昭和57年4月に学校を卒業する予定で就職先を探していました。宿毛市の採用試験も受け1次は合格しましたが2次で不採用でした。宿毛市に入っていたら又違った人生だったと思います。

建築の仕事について紹介したいと思います。住宅を建てる場合現在も行われている大工さんがいると思いますが、設計図を元にベニヤ板に図板と言われる図面を引いて基礎、土台、柱、梁などを加工し組立施工していきます。しかし規模が大きな建物の場合そういうわけにはいきません。

現在工事中の宿毛市市庁舎や保育園などの場合設計図も元に現場の監督さんたちが施工図、工程表を作成して施工管理、工程管理、品質管理を行います。1つの工種のミスが他の工種に影響し工事が遅れたり品質が悪くなるため、監督の重要な仕事です。あわせて事故が起きないように安全管理についても徹底します。

入社して初めての現場は中国山地の元スキー場に施工する道路公団(現在はネクスコ西日本)の中国自動車道のサービスエリアでした。上下線にトイレ、浄化槽、電気室、ごみ置き場等そして半年後には道路施設協会(現在は道路サービス機構(愛称: J-SaPa(ジェイサパ))のレストラン棟、ガソリンスタンドなど多くの建物を施工します。私は入社後の初めての仕事はごみ置き場や浄化槽一次処理槽施工図を書くことと現場の管理を任せられました。

建物の施工流れとしてはまず図面を元に建物の位置を測量して位置決めをします。それを「やりかた」といいます。学生の頃にわずかに習ったトランシット(角度を測る機器)とレベル(高さを測る機器)という測量機器を使って基準になる測量点から建物位置寸法を決めていきます。建物が多いため毎日杭を打つため手の血豆が潰れて大変でした。その上、トランシットは平地でも設置に2~3分かかると山道の斜面の杭のポイント上に1分以内に据えないと昼飯抜きと厳しい先輩がいて大変な思いをしました。そんな厳しい先輩でしたが週末は広島まで2時間かかる山道を車で降りて街に出たら夜はいつもごちそうしてくれました。

次に建物の基礎を支える杭や砕石を施工する「地業」という工程になります。杭は電柱のようなコンクリート製や鋼管製の杭を支持層まで打ち込んだり摩擦で持たせたり穴を掘って鉄筋かごとコンクリートを打設する場所打ち杭など多くの工法があります。サービスエリアの現場では今では騒音で問題になるためほとんどない杭をジーゼルハンマーでたたき込む打設杭でした。毎日「カーカーン」と大きな音を響かせていました。杭は支持地盤に到達すると音が変わる上に入っていきません。当然地盤は一定でなくボーリングの調査通りとはなりませんのであちこちに電柱のように残る杭が多かったのを思い出します。広島の中では場所打ち杭が多いのですが深さ40m~50mはざらにあります。直径も1m以上の場合も多く、くい打ちだけでも大変に時間がかかります。

そして次に基礎工事です。多くは鉄筋コンクリート造で施工します。地下がらる工事の場合は地下一階から下に掘り進めて行く工法などいろいろとあります。

建物上屋の工法にはRC造(鉄筋コンクリート)、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート、組積造(レンガやブロック積)、木造などに分類されますが基礎を含めそれぞれに施工図を作成しそれを元に各職種でさらに原寸図や納まり図を作成して工事を進めていきます。RC造の場合施工図を元に型枠工が型枠を加工し、鉄筋工が鉄筋を加工し組み立てて型枠内にコンクリートを流し込んで建物を形成します。その場合窓サッシや建具類が治まる開

口、天井を吊るためのアンカーについても割り付けて打ち込みます。

建築では多くの職種が入り交じって工事を進めるため一つの工種が終わらないと次にすすめる場合が多く工程の管理は工事を所定の工期内に終わらせるために重要になります。

3kといわれ大変な建築ですが、大手ゼネコンが「地図に残る仕事」っていう文句でCMしていましたが、工事が完了して終わった後は感激ひとしおです。

多くの建物は結構長く残っていきませんが、34年前に建てた鳥取の町の小学校は人口減少で廃校になってしまいました（建物は残ってます）し、28年前に最後の現場となった米子の結婚式場とホテルは今は解体されて「ニトリ」に建て替えられてしまいました。

まだ、まだ話したいことはありますが、コロナのこともありますのでこの辺で終わらせていただきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

## ■ニコニコ

筒井会員

10,000円

敷石撤去します。

## ■出席報告

56.52%